報 告・連 絡 書

令和６年２月２６日（月）

校長	教頭	教務主任	関　係　職　員	〈報告者〉職・氏名 東海村立舟石川小学校 教頭・大内　清隆

〈相手方（会議名等）〉	〈区分〉
第３回学校運営協議会	会議・電話・来訪 その他（相談・会合）

〈主　題〉舟石川コミュニティ・スクールのさらなる充実について

１　日　時　　令和６年２月２２日（木）１５時３０分～１６時３０分

２　場　所　　舟石川小学校　会議室

３　参加者　　学校運営協議会員５名、校長、教頭、教務主任、
生徒指導主事（雨谷）、社会福祉協議会（小倉）

４　協議「コミュニティ・スクールによる教育課程について」

（１）今年度の実施状況の確認

・愛校作業（２回）　・第４３回運動会　・サツマイモ畝上げ　・プール学習（４回）
・ミシン学習（５年：２回、６年：３回）　・図工学習（３年：２回、４年：３回）
・一斉下校　・琴の学習（５年）　・昔の舟石川（３年）
・登下校時の児童見守り活動　など

（２）ＣＳ評価シート結果について

数値の単位は（%）

No.	質　問　項　目	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 そう思わない
設問1	学校運営協議会での協議は充実しています。	68.0	28.0	4.0	0.0
設問2	学校の教育目標や学校経営の基本方針を共有できています。	72.0	24.0	4.0	0.0
設問3	地域・保護者は学校の教育活動に協力的です。	68.0	24.0	8.0	0.0
設問4	コミュニティ・スクールの仕組みや活動は地域・保護者・児童に周知されています。	28.0	48.0	24.0	0.0
設問5	外部人材を活かした授業などの学習活動が進められています。	68.0	24.0	8.0	0.0
設問6	地域や保護者による登下校の見守りなど学校支援が進められています。	60.0	28.0	12.0	0.0
設問7	学校は、教育情報を地域・保護者に発信しています。	76.0	20.0	4.0	0.0
設問8	学校の教育活動の活性化につながっています。	60.0	32.0	8.0	0.0
設問9	児童の学力向上、体力向上につながっています。	40.0	32.0	28.0	0.0
設問10	地域への関心・地域情報に対する関心につながっています。	44.0	36.0	20.0	0.0
設問11	保護者の自治会・地域行事等への参加促進につながっています。	24.0	48.0	28.0	0.0

【自由記述】
・舟石川小の実情に合ったコミュニティ・スクールを目指せばよい。
・CS ボランティアの加入者が増えるとよい。

・協力いただける事業が定着していくとよい。
・毎日の交通安全指導には感謝している。子供たちが「地域に護られて育っている」と感じる。
・要望を取りまとめる部署や担当者が独立してできるとよい。
・スタートしたばかりの事業なので、これから少しでもよきＣＳになっていけばよい。
・ＣＳの存在と協力をもっとたくさんＰＲしてほしい。
・地区や地域への情報発信が足りないと感じる。

○今年度の取り組みを継続させて、さらに充実させていく。
○多くの人材が集まるように募集の仕方を工夫する。
○児童の保護者が参加できるＣＳの活動を増やしていく。
○ＣＳの活動の様子や募集のお知らせなどは以下の方法を活用していく。
・学校だより・学年だより→→→保護者向け（リーバーによるデータ配信）
・舟石川小から配信する学メル便→→→地域住民向け
・舟石川小ホームページ（学校だより、学年だより）
・舟石川小ホームページ（コミュニティ・スクールのバナー）
※学メル便にホームページのＵＲＬを掲載することで、くわしい情報を伝える。
舟石川小ＨＰ→→→http://www.funaishikawa-e.ed.jp/cs.html
・自治会の回覧板
・ＰＴＡ役員やＣＳボランティアからの声かけ　　など

（３）令和６年度の事業計画について
・各学年によるＣＳ活動を早めにお知らせする。
※新たな活動を計画するときは、ＣＳボランティア募集のお知らせを上記の方法で早めに周知する。
※今年度の内容で継続するときは、担当者がＣＳボランティアと連絡・調整を行う。
・「下校時刻の予定表」が確定し次第、ＣＳボランティアに周知する。
・「主な通学路を明記した資料」についてもＣＳボランティアに周知する。

（４）令和６年度学校運営協議会の組織について
・新規で東海村社会福祉協議会（小倉貴博さん）を協議会員に加える。
・新規で本校生徒指導主事（雨谷英樹教諭）を協議会員に加える。

（５）その他
・児童の通学路には車の交通量の多い交差点が点在している。
・朝の立哨指導に協力してくれる保護者・地域住民が不足している。
・児童の安全な登下校を見守る体制をさらに整備していく必要がある。
→→→児童の安全確保の必要性を鑑みて、学校としてもＰＴＡと相談して対策を検討する。
→→→自治会・子ども会にも継続して協力を要請していく。

※ＣＳボランティアの登録は各自治会（船場、舟石川一区、舟石川二区）の協力を得て進めますので、各自治会長さんへご連絡ください。